

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	江尻（篠原）桂子 清水（中西）由紀	所属	茨城キリスト教大（江尻） 埼玉大学（清水）
研究集会等名称	発達心理学基礎研究検討会〔通称：土曜研〕		
成果概要	<p><b>1) 参加人数</b>（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）          会員 17名（うち認定心理士 5名）          非会員 50名（うち認定心理士 5名）</p> <p><b>2) 集会等の目的・成果等</b></p> <p>① 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究会では、発達心理学研究の中でも、特に実証的研究、データに基づく実験・観察・調査研究に重点をおき、これらに従事する第一線の若手研究者をゲストにむかえた。そして最新の研究成果発表をもとに、参加者を交えた活発な議論を行った。</li> <li>・ホームページを開設し、これまでの開催概要および今後の開催予定について掲示している。 <a href="http://doyouken.jimdo.com/">http://doyouken.jimdo.com/</a></li> </ul> <p>②成果：2014年度は2回の研究会を開催した。</p> <p>&lt;第25回研究会&gt;          日時：2014年8月30日 13:00-16:30          場所：埼玉大学東京ステーションカレッジ          発表者：小林哲生（NTTコミュニケーション科学基礎研究所・名古屋大学）          「ことばの発達：1歳代で起こる語彙発達の大きな変化を探る」</p> <p>&lt;第26回研究会&gt;          日時：2015年3月14日（土）13:00-16:30          場所：埼玉大学東京ステーションカレッジ          発表者1：宮崎美智子先生（大妻女子大学社会情報学部）          「乳幼児期における目標指向行動の組織化を探る新たな試み ～イメージ・スクラッチ課題による視線操作の発達の評価」          発表者2：鹿子木康弘先生（京都大学大学院教育学研究科）          「乳児期早期における向社会性」</p> <p>合計2回の研究会において、発表者の方からは、それぞれの最新の研究成果をご紹介いただくとともに、その研究分野の最新の研究動向や、今後の課題などについても紹介いただいた。参加者としては、全国から、また様々な専門分野から、研究者や学生が集い、活発な議論がなされた。</p> <p><b>3) 将来の計画</b>：これまでと同様、年に1～3回、定期的に研究会を開催してゆく。研究会の開催スタイルとしては新進気鋭の研究者をゲストスピーカーに迎え、最新の研究成果について発表いただき、これをもとに参加者らで議論を行ってゆく。研究会の将来目標は次の二点である。①異なる研究機関に所属する研究者同士の交流の増進を図るとともに、研究者間・研究機関間のネットワーク形成および学術情報の共有の場を提供する。②研究会活動を通して、日本の発達心理学研究における若手研究者の支援と交流の活性化を目指す。</p>		

2015年3月31日

日本心理学会研究会 2014年度会計報告書

研究会名称 発達心理学基礎研究検討会〔通称：土曜研〕

研究会番号 研14003

助成金額 ¥30,000

年 月 日	項 目	金 額
2014年8月30日 (第25回研究会)	※発表者 小林哲生先生 (NTT基礎研究所) (交通費なし)	¥0
2015年3月14日 (第26回研究会)	発表者1の交通費 ※発表者1: 宮崎美智子先生 (大妻女子大学) (JR線: 大口-川崎-東京 往復)	¥1,000
2015年3月14日 (第26回研究会)	発表者2の交通費 ※発表者2: 鹿子木康弘先生 (京都大学) (JR線: 高槻-京都- (新幹線指定席) -東京駅 往復)	¥29,000
	支出合計	¥30,000